議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 11 回 自治区制度等行財政改革推進特別委員会

日 時 平成 30 年 12 月 12 日 (水)

13 時 27 分～14 時 50 分

場 所 議会全員協議会室

【委 員】串崎委員長、芦谷副委員長

三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、飛野委員、岡本委員、
永見委員、佐々木委員、西村委員

【議 長】

【委員外議員】西川、柳楽、小川

【執行部】近重副市長、内藤金城自治区長、岩谷旭自治区長、熊谷弥栄自治区長、
中島三隅自治区長、砂川総務部長、岡田地域政策部長、宮崎財務部長、
吉永金城支所長、塚田旭支所長、河上弥栄支所長、斎藤三隅支所長、
草刈財政課長、岡橋政策企画課長、大屋企画係長

【事務局】鎌原書記

議 題

1 自治区制度について

2 陳情審査

(1) 陳情第 83 号

自治区制度への議会の姿勢を明確にすることを求める陳情について

(2) 陳情第 84 号

自治区長の業務を洗い出して現状分析し議論を求める陳情について

3 その他

【会議録】

(開 議 13 時 27 分)

串崎委員長

委員会を開会します。本日出席者 11 名で定足数に達しています。レジュメに沿って進めさせていただきます。

1. 自治区制度について

串崎委員長

配布しています資料について執行部より説明をお願いいたします。

政策企画課長

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長

説明が終わりました。委員から質問・意見等がありますか。

川上委員

執行部案として聞いておきます。1 ページ目の「自治区制度に対する各自治区の思い」の中に、自治区制度を廃止しようという正式な言葉がさほど出てこなかったと思いますが、自治区制度廃止案が出てきた、その根本には何があるのか教えてください。

旭自治区長

検討会議の座長としてお答えします。廃止というよりも設置条例には区長の役割、報酬等が綴ってあります。区長を止めるということは自治区条例の廃止になるという扱いで、こういう文言になりました。旭の地域協議会でも「全く答えてない」という意見でしたが、こちらの狙いは自治区制度を廃止してそれに代わるものを提案したいという意味です。

川上委員

確かに自治区長が居なくなれば自治区がなくなるというのは分かります。しかし住民意見には自治区長を完全にやめましょうというのは、はっきり見えていません。代替案が無ければ駄目という話が出ているので、一体どこから「自治区長を止める」流れが確かになったのかご説明ください。

旭自治区長

一番は行政のスリム化です。区長と支所長のツートップでやってきましたが、支所の職員が減っていく中でこの体制を続けるのは難しい。地域協議会でも区長と支所長の 2 名体制の継続が困難であることは、はっきり伝えました。ではどちらかを残すということなら、支所長を残すのが良いという案です。

川上委員

行政のスリム化でやむを得ずということで良いですね。

次に自治区予算について伺います。1 ページ目の一番下に「自治区の枠を超えた予算枠を検討する」と書いてありますが、これはどこからできたかを教えてください。

地域政策部長

元々自治区で担保して欲しい機能として、個性あるまちづくりを進めるための予算の担保というご意見がありました。一方で、各自治区で地域の為だけに判断して使えるというよりは、むしろ多くの中山間地が抱える共通課題に対して本当に良い提案について集中的に応援していく手法の方が望ましいのではということで、自治区制度に並行して中山間地域活性化についてもプロジェクトチーム

で研究を進めていますが、特に中山間地域全般的に振興のための基金を積んでいく重要性もまとめたので、個々の自治区の枠にとらわれず中山間地という全体枠内で予算確保して、それを共通認識のもとに使っていただけるような制度にしていったらどうか。そういう提案として考えさせていただきました。

川上委員

個性を活かしたまちづくりというのが、今までの自治区制度の最たる目的だと思います。自治区制度を廃止するから個性を活かしたまちづくりは置いておいて、中山間地振興の予算化を考えた方が良くと思われたということで良いですか。

地域政策部長

中山間地域の枠としては、その広い括りの中で、本当に各地域でアイデアを出して皆で議論していく姿勢が重要ではないか、というのが1点。もう1つは、個性あるまちづくりで言うともう少し小さなエリア、公民館や集落のエリアで本当に必要な活動を応援していくためにどうするのかという議論があろうかと思います。それは自治区や中山間地の枠というよりむしろ、まちづくり総合交付金に絡めた小さなエリアの予算を充実させることが重要ではないかと考えています。決して1つだけで個性あるまちづくりを応援するというのではなく、2本立てで考えていく必要があると思っています。

川上委員

再度自治区予算の件です。5年間で10億円の中山間地域振興枠を創設するとあります。5年間の時限を設けた理由を教えてください。

地域政策部長

中山間地の枠は、これまでも前回見直した時に4年間の枠として期間を定めてきました。だいたい各種交付金にしてもそうだが、ある程度期限を定めてその経過を検証して次にどうするかを検討していく必要があるので、概ね5年程度で見直しして、次どうするかを検討する必要があるのではと思っています。

川上委員

目安として5年という枠を作っておいて、今後考えていくという方向ですね。

次、制度全体の中でコミュニティセンター化を進めて機能の充実を図っていくとあります。近隣でコミュニティセンター化している例として江津市があります。江津市の現状をご存知の上でこの言葉を出されたのでしょうか。

地域政策部長

コミュニティセンター化についても中山間地域対策の中でも検討を進めています。中山間の身近な集落や公民館エリアでまちづくりを進めるためにそこを支援する人材や機能が必要だという議論になっています。それを考えると、今公民館が持っている機能にまちづくり支援機能を足していく。この考え方は社会教育委員の会の中でも、今後のあり方としてそういう方針が望ましいという答申もいただいているので、それを踏まえて今後コミュニティセンター化をしっかり研究していこうと考えています。今の段階で江津市の現状といったものまで踏み込んで想定はしていません。

川上委員 5 自治区の内、自治区制度をやめたら良いと本当に思って動かれている地域がどこか言えますか。

地域政策部長 これまでこの案を議会にお示しする一方、地域協議会にもお示ししてきました。それを受けてこれに対する意見等も頂戴しましたが、これまでの地域協議会の中で浜田自治区と弥栄自治区も概ねこの案を好意的に受けていただいているのではないかと思います。区長さんから少しフォローしてもらった方が良いかと思っています。

旭自治区長 各自自治区の地域協議会の結果を言った方がよろしいですか。

川上委員 地域協議会の話は聞いているので、状況は分かっています。ただ、金城自治区の地域協議会でこの案を説明された時に、本来ならこれは執行部案なので、金城の方だけにお任せするのではなく本庁から来て説明するのが筋ではないかと思いました。それをなくしてこのような簡単なことを言うのは、非常に不愉快だったことだけ言っておきます。

旭自治区長 それについては、そういう意見がありました。まず自治区長を中心に話した案なので、各区長の口から説明をお願いした次第です。

永見委員 5 の制度について質問させていただきます。1 から 4 までの方針案を踏まえ、自治区制度を廃止する。その代わりに住民自治の理念を示すまちづくり推進条例を制定すると書いてあります。推進条例とはどのような形をお考えですか。

地域政策部長 まちづくり推進条例とは、協働のまちづくりを推進するためにまちづくりの理念を明らかにして、協働の担い手となる市、市民の皆さんの役割、基本的なルールや仕組みを定める条例になろうかと思っています。自治の主体が市民にあると謳うと共に、基本的な原則等も定めて協働のまちづくりを推進するための仕組みとして地域協議会やまちづくり推進委員会や公民館コミュニティセンター化等もありますが、こうした仕組みを中に盛り込んでいくことになろうかと思っています。その上で市と市民それぞれの役割を明らかにしていくような理念条例を考えており、その原則に基づいて各種施策を決めていくと思っています。

永見委員 まちづくり条例の細部は今から検討するとのことなので、その辺りは自治区制度廃止の前にじっくり説明いただいて、それからの問題かと私は思いました。

地域政策部長 確かに自治区制度廃止が最初に来ているので、誤解も受けたのだらうと思いますが、先ほど政策企画課長がご説明したとおり、まず自治区制度によらないまちづくりだと地域の皆さんにもご説明しており、この住民自治の理念を示すまちづくり推進条例（仮称）を制定することや、もっと身近な活動を応援するための公民館のコミュニティセンター化も含め、方向性をもう少し具体的に示した上で、ご理解が頂けるようなら自治区制度を廃止する流れかと思っています。

永見委員	るので、順番が逆だったことは反省します。 今のご答弁のように、廃止以前にまちづくり推進条例についてしっかり説明いただければと思いますので、お願いします。
三浦委員	川上委員への答弁に「行政のスリム化が目的の1つ」だとありました。この方針素案を拝見すると、廃止理由の大きな点は自治区長なのかと思います。それによりどれくらいスリム化されるのか、現段階で試算されていれば教えてください。また、まちづくりの拠点とした公民館のコミュニティセンター化は、増える方の話だと思うので、増える部分も現段階で検討されていれば結構ですが、体制規模や財源、新たな確保がどれくらい必要なのかお示してください。
政策企画課長	スリム化で自治区長を廃止した場合どれくらい効果があるかですが、約 2500 万円を自治区長の報酬と共済費として予算化しています。
地域政策部長	公民館のコミュニティセンター化による経費についてですが、新しいまちづくり機能も担っていただくので、現体制では厳しいことは承知しています。人員体制、活動費についてはこれから検討しようと思います。ただ、今の段階でそれがどれくらいの枠になるかはもう少し研究させていただきたいと思います。
三浦委員	わかりました。自治区長が廃止されてマイナス 2500 万円になった場合、それに代わる、例えば地域協議会会長が地域の実情や要望等を把握し役割を担う、と今の段階で書かれていて、これは今の地域協議会会長の業務が大きくなるとすれば、そこに対しての手当も想定されるのでしょうか。
地域政策部長	これは地域の声も聞いていかなければいけないと思います。例えば地域自治区制を導入されている所で地域協議会を持っておられる団体では、謝金について特段定めが無く、浜田市で実践しているような報酬内で、出た意見を伝えるやり方もあろうかと思っていますし、責任が重くなる分そこをどうするかは、改めて考えないといけません。今の段階で地域協議会会長さんの手当や報酬まで踏み込んだ議論はしていません。
三浦委員	行政のスリム化は、現行制度でかかる人件費や各種コストが結果的にマイナスにならないとスリム化にならないと言い換えられるのですが、今後地域協議会会長がどのような責任を負って、どのような報酬で対応していくかは、マイナス 2500 万円の中で考えていく方向性になるのでしょうか。
地域政策部長	今回制度的なものや各種機能をどうしていくかという議論を中心にたたき台としてお示ししたので、もちろんこの議論を深めていただくためにある程度はお示しせねばと思いますが、報酬の増額は今のところは考えていません。
三浦委員	報酬は基本的に無しという今の状況の中で、自治区長がこれまで担ってこられた役割は地域協議会会長が担うことができる、ないし

地域政策部長
旭自治区長

支所長が担うことができちんと担保されるというお考えで予算をまとめられているという理解でよろしいですか。

そのように考えています。

補足させてください。スリム化というのはコスト面のことだけではなく、浜田市全体が職員削減をやっていく中で、支所 22 人の中に区長と支所長という命令系統が 2 つある、つまり頭が大きくて職員が減ってきたということがあるので、指揮系統がツートップなのは制度としてクエスチョンかなという意味でもあります。

佐々木委員

まだたたき台で全くの素案ということなので、気になる所だけ聞かせてください。区長が居なくなったらその役割をどうするかについて、支所長か地域協議会会長が担うとすると、支所長の役割は現状維持とするとなっているので、例えば災害時・非常時の指揮等を地域協議会会長がされるのか。区長さんの役割がはっきり分からないのでお聞きしたいです。それと、検討会会長が各自治区で説明されたら「ぼーんと意見が返ってきた」と言われました。その「ぼーん」が今日は聞きたかったのですが、またいつか出てくるのだと思います。その「ぼーん」によって以前のような個性あるまちづくりと一体感のあるまちづくりの衝突という感じになっていかないか懸念があります。自治区制度廃止という言葉が非常に気になっていて、何か他の表現は無かったのかと思います。仮に自治区制度という名前は残してもスリム化はいくらでもできますし、予算削減もできます。もし自治区制度という名前に住民の方が拘っておられるなら、その扱いも非常に慎重にすべきだと感じています。

あと予算については、5年で10億円。この過去4年間でいくと4自治区4年間で50億という枠だったので、多分5分の1以下くらいになるのでしょうか。昨日聞いた中期財政計画の新しい見通しでは、非常に安定した無理のない予算組みができるとのことだったので、この辺の背景もあるような気がしています。それにしても枠がいかげなものかという気もしました。とりあえずその3点について。

総務部長

災害時対応については昨年7月豪雨の反省を踏まえ、テレビ会議システム等を導入して本庁の災害対策本部と支所が常に連携して対応できるようにしています。従って今は自治区長の判断で消防団の対応等をお願いしていますが、今後もし支所長がトップとなれば災害対策本部とテレビ会議等での連携をしながら判断ができていくと思います。災害時に特に重要となるのは、支所で災害対応ができる職員をどのくらい確保するかだと思いますので、その辺には特に配慮して支所の人員体制を維持することが、災害にも配慮した考えであることをご理解ください。

旭自治区長

旭自治区長として、地域協議会の意見の総体からですが、地域協議会にて徹底的な洗礼を受けました。それは覚悟していたものです。

つまり見直してもらわねばいけない所は、地域協議会の皆さんも分かっておられる。しかし何にしても廃止廃止なので、洗礼は受けたものの、かといってというところもあります。我々の意見も聞いてね、地域協議会の意見も聞きますということで、これから詰めていかねばと思っています。特に地域協議会の皆様には「自治区制度を見直します」と断言しました。しかしここに書かれた文を見たら、止めるという意味に他ならないと。先ほどの災害の話もそうですが、旭の地域協議会の皆さまは、我々のことを一番良く知っている人のために区長というポストがあるのであって、支所長には務まらないと。支所長には地域の事を全くご存じない方が来るのではないかと、だから任せられないと、そんな一方的なお考えです。

洗礼は覚悟しています。激しい反論があるからといって「それでは元に戻します」では価値のないことですので、これから議論しなければいけないと思います。

地域政策部長

あと予算関係で、ここまでの4年間50億という話がでましたが、これは投資的経費の枠だと思っていて、主に道路・橋梁等のハード整備を想定して組んだ枠です。これは31年度までで、あとは市全体で優先的にどこをしていくかを考えながら対応していくことになろうかと思っています。一方今回中山間地域基金と併せて10億と申し上げたのはむしろソフト部分で、これまで地域振興基金と呼んでいたものです。これはこの4年間で従前の10年前からの積み残りで5、6億円あったと思いますが、これも皆さんこれまで使われて目減りをしています。それを中山間地域活性化のための共通事業基金と一本にして、5年で10億くらいという規模で良いと思います。

佐々木委員

住民のお気持ちも分かりました。私は廃止で全くのゼロになるわけではなく、大まかには区長さんがいるかいけないかという点だと。それが大きいと言えば大きいのでしょうか。あとは色んな所に配慮されたり代替案を作ったり、予算も一定程度見るとのことなので、「廃止」という言葉でこれを整理すると、恐らく勘違いされる方もおられると思うので、もう少し慎重な表現が必要だったと思います。

もう1つ気になるのが、今回委員長が最終日に言うと思いますが、浜田自治区の組織の問題です。他の自治区の方が圧倒的に規模が大きくて、委員会からは中学校単位くらいを恐らく提案すると思いますが、あまりにも他自治区の協議会と規模が違うので、浜田自治区もそれに倣って良いのかなというのがこの委員会の思いです。その辺の議論や考え方が多少あるなら教えて貰いたいと思います。

副市長

浜田自治区の地域協議会でもそういうお話があります。ただ、また同じような5地域協議会といたら、75人くらいの規模のものを作らないといけなくなりますし、各地域には議員さんがおられるのだから地域住民の皆さんの声は吸い上げられ、市政に反映される機会があります、という説明を地域協議会ではさせていただきますし

た。浜田自治区の皆さんがなぜ地域協議会を増やさねばいけないと
思っておられるかという、今までずっと1対4の構図が続いてき
て、自分たち1つの協議会ではもう太刀打ちできないという思いが
強くて、人口規模が大きいのでからもっと多人数で対抗すれば良い
という発想で言われている部分大きいと思っています。中学校単
位のことまでは考えておられないように私は思っています。連合自
治協議会という1つの大きな組織もありますから、要望等はその中
で言っていただいて。そのような説明をしたら、大きな反発はなか
ったと思います。

川上委員
総務部長

自治区長が無くなったら、行政機構図はどうされますか。

今自治区長は特別職で設置しています。本庁で言えば市長、副市
長、各部長が下に並んでいますがそれと同じように本庁の各部に並
列して金城支所、支所長、課長、という並びになるかと。

川上委員

今7つくらいあります。来年4月から6になります。プラス今度
はまた4になるという状況になると思います。そこまで手が回るの
かと思いつつ、今考えているところです。何か特別に考えがあるの
か、あれば教えてください。

飛野委員

今回素案としてたたき台だと言われましたが、明らかに自治区長
は廃止して地域協議会会長が代わりにやっていくとのこと。これ
は今まで随分論議されてきた部分だと思いますが、活字で明記さ
れたことで、これから出回っていくと思います。地域協議会が各自
治区に持ち帰ってこの素案に対して論議せねばいけない。本当に地
域協議会会長がその責を取れるのか、市長が最低1回出ること
で要件を全うできるのか心配していますし、地域に持ち帰って論議
する必要があるのではと。

先ほどスケジュールを見ていたのですが、今日素案が出されました
が当初の予定では3月議会までに素案をとという形になっていた
ようです。早めておられるので、今から地域に持ち帰って検討して
も間に合うのかとは思いますが、この部分は地域協議会がしっかり
議論する必要がある。なぜかという今回色んな形で地域から意見
が出てきています。前回は執行部から「自治区についてはこのよう
にする」というたたき台がありましたが、今回は無かったために非
常に広範囲な意見が市民から出てきて、その意味はあったと思いま
すが今回たたき台として出てきた。これについては地域で再度深く
協議する必要がある、そのためのたたき台なのだからこれで良いと
思いますが、私が心配したのはそことスケジュールが上手くいくの
か、聞きたいと思います。

地域政策部長

3月末までの案はある程度、地域の皆さんもこれならばと納得い
ただけるような最終形に近いものでまとめたいと思っています。そ
の過程ではたたき台がないと議論できないというお声もあったの
で、当初の予定どおり12月末に1つのたたき台としてこれをお示

しさせていただきました。従ってこれをもとにご意見を頂戴できると思っています。多くの議員さんからご指摘もいただいておりますが、総じて各機能を見てみると、全部やめるのではなく何を担保しなければいけないかきちんと整理して、それで地域協議会なり支所なり、区長の代替的な機能ということで整理して載せています。実の部分がもう少し伝わるような資料にしなければいけなかったと、事務局として少し反省があります。自治区制度廃止という名ばかりの所を敏感に捉えられていたのではと思います。

串崎委員長
地域政策部長

今後は（仮称）まちづくり推進条例が元々どういうことを目指しているかや、コミュニティセンター化で地域が一体どう変わっていくのか、そういった実の部分をお伝えしながらご意見を頂戴していくことが大切かと思っています。

スケジュールについては。

3月までのところで地域協議会も何度も開催していただくことは確認していますので、そこで声をいただきながらまとめていけたらと思います。

芦谷副委員長

この資料にあるように、地域協議会会長は地域の実情云々というのがあって、意見を述べよというのがあります。地域協議会の機能の中に「市長の諮問に応じる部分」と、地域協議会で行う事業の中に「(3)その他必要な事項」があります。もう1項目、地域としての意見の取りまとめやそういった機能をはっきりさせた方が、地域協議会でも機能として地域の実情や住民の声の集約ができると思います。その点についてどうでしょう。

地域政策部長

地域協議会の機能について、最初は今の地域協議会の枠を越えて総合振興計画にしろそれに準ずるものにしろ、市全体の重要施策について地域を代表して意見を述べる部分と、2番目については今の自治区エリア内での様々な施策についてご検討いただきたいということで分けているので、もう少し適当な言葉をご提案いただければ反映させていきたいと思っています。

芦谷副委員長

地域協議会の鳴り物入りなので、是非地域の実情や住民の声を把握するというのはあった方が良くと思います。

3ページで伺いたいのは、金城自治区、旭自治区といった呼称は残るのかどうか。

地域政策部長

自治区という名称が無くなった時に「地区」といった名称になるかと思いますが、少なくともエリアを示すことは必要だと思っています。

芦谷副委員長

廃止の問題がありましたが、地域協議会も残り予算も残るので、実質今までの自治区制度は残るのですよね。自治区制度は改変とか機能充実といった言い回しが良いと思いますがどうでしょうか。

地域政策部長

自治区制度が今のまま残るというイメージを持ってもらうと、それは少し違うという思いでこのような表現にさせていただきました

たが、どの表記が今からご説明しようとしている内容に適しているかは、再度改めて検討したいと思います。

芦谷副委員長

制度の部分に「まちづくり推進条例」とありますが、今までのことを反省すると自治区制度が一体的なまちづくりと個性あるまちづくりの二律背反するようなことを進めてきた結果、自治区に対する捉え方が違ってきます。問題は推進条例を受けて、具体的に執行部がやるべきこと、市民がやるべきことの行動指針みたいなものがないと、条例だけだと解釈によっては二の舞になるので、推進条例の下に規則や細則を作る考えはありませんか。

地域政策部長

今は現あの自治区制度がまちづくりを進めるための基本的な浜田のシステムだと思っていますので、そのまちづくりの理念を明らかにするというので、まちづくり推進条例を整理したいと思っています。ただ細かなことになると時間をかけてしっかりやらなければいけないので、推進条例を作った以降も引き続きその辺りは検討していく必要があると思います。

芦谷副委員長

公民館のコミュニティセンター化ですが、現行体制ではなかなかままなりません。私が思うに、地域に向き合う姿勢ならば本庁の色んな部分で見直しして、是非正規職員を公民館に配置してその現場で対応できる機能がないと、嘱託でいくら充実しても本庁等に確認が要るので。スリム化とは本庁を見直す中で仕事のありようを本庁浜田市中央から、周辺各地域に分散する思想で公民館コミュニティセンター化に伴って正規職員も含めて対応することにしたらどうでしょうか。

総務部長

職員配置については職員適正化計画も作りました。再任用職員の新たな導入等も兼ね合います。ただ、地域を元気にするためにはそういう考えも必要ですので、限られた職員の中で今後どういうことができるかは議論していきたいと思います。当然そういった視点は必要だと思います。

芦谷副委員長

今までの自治区制度の迷走を見るにつけ、執行するのは執行部であり議会も責任があるので、そのことが機能して地域内の分権がない、住民の身近なことは地域で解決できる態勢を作られることをお願いして終わります。

串崎委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

その他、執行部より何かありますか。

(「ありません」という声あり)

委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では執行部の皆さんは退席していただいて結構です。ありがとうございました。

- 第1回から第11回までの内容について
- 「自治区長」の役割と新制度における考え方
- 「地域協議会」の役割と新制度における考え方
- 「本庁・支所機能」の考え方
- 「自治区予算」の役割と申請における考え方

串崎委員長

それでは、特別委員会委員長報告(案)について調整をしていきたいと思います。

皆さんにお配りさせていただいておりますのは、12月19日の最終日にいたします委員長中間報告案でございます。

冒頭にこの委員会の目的と第1回から第11回までの内容について記載をしており、その下に今回の意見のまとめを記載しております。このような形で報告させていただいてよろしいでしょうか。皆さんからのご意見をいただきたいと思っております。

三浦委員

自治区長の役割の所ですが、「区長は地域を代表し地域の意見を市長に要望等し、特色あるまちづくりのために必要な機能である」という合意を、この委員会ですみましたでしょうか。区長からのヒアリングを委員会ですべてさせていただく中で、私は区長の役割がはっきりしないという感想を持ったので、地域を代表云々で必要な機能であるとされても、本当に必要なのか未だに疑問に思っています。その議論は委員会ですべてしていないので、それをここに明記してしまうと委員会の意見として違うのではないかと違和感を覚えました。

串崎委員長

三浦委員からのご意見について、皆さんのご意見はどうでしょうか。

三浦委員

地域を代表し地域の意見を市長に要望等する、あるいは特色あるまちづくりのために要望を伝えていくという機能は必要。ただそれがイコール自治区長という書き方になっているので。そういう機能は必要である、それを今は区長が担っているが地域協議会等も設置されていて、現行機能を整備して検討する必要があるというところは、共通理解が取れたのではないかと私は思っています。

西村委員

私も全く同じ意見を前回か前々回に述べました。それを探りたくて自治区長にその点についてお尋ねしたことがあります。三浦委員が言われたように、明確に自治区長の言葉として「こういう機能を果たした、従って何としても必要だ」とおっしゃった記憶がないです。私はそこが異様に個人的にも残念で、必要なことであると多くの自治区長がお思いのようなので、そこは文章なり具体的に発言としてそのことが分かるように、納得できる形で表現して欲しかったという思いは未だに持っています。ただ、私の印象では弥栄自治区長を除いては必要な役割だという認識を持っていらっしゃるようには感じました。しかし具体的に伝わってこなかった。それで良い

のかという思いも正直あります。

串崎委員長 三浦委員、もし具体的な文言修正案があれば出していただけますか。

三浦委員 区長はというところを取って、地域を代表し地域の意見を市長に要望等をする……ちょっと書いてみます。

串崎委員長 その他どうですか。

芦谷副委員長 先ほど執行部の報告との兼ね合いもありますが、2点目の地域協議会の中学校単位目安云々というのが、このような議論はしましたが、提案した人には悪いですがそこまで踏み込んで本当にできるのかという感じがしないでもないです。もっと浜田自治区の地域協議会のあり方を、複数設置も含めてみた感じの方が今日の執行部の報告からするとすんなりいくと思いたしますがどうでしょうか。

川上委員 執行部の話は執行部で、それは聞きおいて、せっかくこうして特別委員会で意見が出ているのだから、これはこれで残しても良いかと私は思います。

西村委員 要するに今回そこまで突っ込んで、当委員会の意見として出すよりは、例えば今回は今のままの制度にしておいて今の状態で浜田自治区の地域協議会としてはどういうあり方が良いのかを、浜田地域協議会が1つの課題として議論していく、結論が出るかは分からないけど一定の結論を出すべく努力していく、といった表現が良いのかという思いもあります。中学校単位という具体的な提案まで踏み込むには少し言い過ぎかと。そこに向けて議論を深めるために一応今回は人数も含めて現状のまま、という提言の方が良いような気がします。

串崎委員長 中学校区といった具体案は出さなくて良いという話です。今日は何も考えず切ってしまうか。

岡本委員 中学校単位というのは私が提案し、佐々木委員も提案されたと思っています。先ほど副市長が浜田自治区協議会の中での話で、地域協議会云々ということは言われましたが、発言者はそういう捉え方ではなく、1対4の割合が非常に厳しいと。だからこれに対する考え方を少し整理しないとイケないのではないのかという意味に私は受け取りました。副市長はどうもそうではなく、浜田の地域協議会は1つで良いのだというニュアンスで説明されたようですが、地元の方はもうバランスが崩れていると言っているのだから、中学校単位の目安というのは委員会としては、そういう話をさせていただいたのだから、それは出すべきだと私は思っています。

佐々木委員 先ほどの副市長の発言は、数には数でというような、地域協議会の本旨とは違ったような話をされたと僕は受け取りました。地域協議会は本来、地域住民の声を拾い上げる組織という認識を持っていますので、そういう意味合いのバランスでいくと浜田自治区はどうかという。中学校単位と僕は言ったかどうか分かりませんが、もう

少し小さい単位でということは言った覚えがありますので、数でどうのこうのということではなくて、飽くまで住民の声を拾い上げる機能的なものをもっと協議会としてやるなら、作っていくべきではないかという趣旨です。中学校と謳うのかどうか分かりませんが、浜田自治区はもう少し機能的なものにするという意味合いでまとめてもらったら良いと思います。

串崎委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

川上委員

では、一応中学校という文言は取るという形の方が良いですかね。先ほど西村委員が言われたとおり、私もその方が良いと思います。市政に要望できるような組織体制を検討する、そして人口の多い浜田自治区においてはより一層住民意見を吸い上げる組織体制を検討すべきである、という形になるのかと思いますがいかがでしょうか。

串崎委員長

川上委員のご意見のとおりで良いですか。まだ中間報告で、今からまだどうにでもなりますから。

岡本委員

だから言っているのです。中間だから、話されたことをなぜ集約する必要があるのか。出た意見なのだから。その意見はバランスが悪いという1つの起点から言っているわけで、それをなぜ消す必要があるの。浜田自治区で考えてやりなさいということなら、それができないからバランスが悪いと浜田の人は文句を言っているのです。なぜバランスが悪いかというと4対1だから。そういうことなのだから、それを我々としては論議したわけだから、あるがままに表現してもいいではないですか。これが結論ではないのだから。

串崎委員長

岡本委員から再度意見が出ましたが、それで良いですか。

芦谷副委員長

中間報告なので、岡本委員の熱い想いも分かったので、そのようにしていただいても結構です。

串崎委員長

では、これはこのままの状態ですさせていただきます。

他にありませんか。

(「なし」という声あり)

詳細の調整については、正副委員長で行い皆さんに再度確認していただき、議会最終日の12月19日に中間報告として委員長報告をさせていただきますのでよろしくお願ひします。

2. 陳情審査について

(1) 「陳情第83号 自治区制度への議会の姿勢を明確にすることを求める陳情について」

串崎委員長

陳情審査に入ります。委員からご意見をお聞きします。現あまだ議論の検討中ですので、継続審査の印象も私は感じたのですが、皆さんのご意見を伺います。

川上委員

これは「はっきり示して欲しい」という陳情ですので、私どもの委員会がどのような判断をする、しないというのは、委員会に任し

ていただくことであり、陳情者の願いを聞くことでもないかと思
います。

三浦委員

この制度をどうするかを議論するのがまさにこの委員会なので、
この陳情については不採択でよろしいかと思えます。

川上委員

三浦さんが言われたのは、この委員会が示すから良いではないか
と。だから不採択で。

串崎委員長

他にご意見が無いなら、採決に入らせていただいてよろしいで
すか。

(「はい」という声あり)

○「陳情第 83 号 自治区制度への議会の姿勢を明確にすることを
求める陳情について」を採決します。採決は、委員会条例の規定に
より問題を可とすることでお諮りします

本陳情について、採択とすべきものとすることに賛成の委員の挙
手を求めます。

挙手なしで不採択と決しました。

(2) 陳情第84号 自治区長の業務を洗い出して現状分析し議論を求める陳情について

串崎委員長

委員からご意見をお聞きします。

川上委員

現実にもそのことをやっていますので、これについても、やって
いることをやれと言われても困るのだが、いかがでしょうか。現自治
区制度における自治区長の権限は決まっています、決まりきったこと
が書いてあるので、それをまた洗い出してわざわざ協議する必要は
ないと私は思います。

串崎委員長

他にご意見が無いなら、採決に入らせていただいてよろしいで
すか。

(「はい」という声あり)

○「陳情第 84 号 自治区長の業務を洗い出して現状分析し議論を
求める陳情について」を採決します。採決は、委員会条例の規定に
より問題を可とすることでお諮りします

本陳情について、採択とすべきものとすることに賛成の委員の挙
手を求めます。

挙手なしで不採択と決しました。

以上で陳情については終わりたいと思えます。

3. その他

串崎委員長

委員から何かありますでしょうか。

(「なし」という声あり)

これには書いてありませんが、次の自治区制度特別委員会はいつ
頃やりますか。

(以下、協議)

では正副委員長で調整させていただくということによろしいで

すか。

(「はい」という声あり)

以上で、本日の委員会は終了します。お疲れ様でした。

(閉 議 14 時 50 分)

浜田市議会委員会条例第 65 条第 1 項の規定により委員会記録を作成する。

自治区制度等行財政改革推進特別委員会 委員長 串崎 利行 ⑩